

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 竹内製作所
 コード番号 6432 URL <http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 竹内 明雄
 (氏名) 神山 輝夫

TEL 0268-81-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	41,728	26.8	3,112	90.5	4,758	153.9	3,535	124.7
25年2月期第3四半期	32,921	6.1	1,634	85.8	1,874	—	1,573	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 4,570百万円 (188.7%) 25年2月期第3四半期 1,583百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	216.49	—
25年2月期第3四半期	96.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	48,717	34,994	71.8
25年2月期	51,051	30,554	59.9

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 34,994百万円 25年2月期 30,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年2月期	—	0.00	—		
26年2月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	26.2	3,800	170.4	5,200	79.0	3,720	12.0	227.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年1月10日)公表いたしました「平成26年2月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	16,333,000 株	25年2月期	16,333,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	1,135 株	25年2月期	1,135 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	16,331,865 株	25年2月期3Q	16,331,865 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第3四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年11月30日まで)の経済は、米国におきましては、住宅価格の安定的上昇や継続的な住宅投資の拡大など住宅市場の堅調さを背景に、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。英国におきましても、消費の堅調な伸びや住宅市場の持続的な回復が経済の持ち直しを牽引し、景気の回復基調が続いております。一方、その他の欧州におきましては、総じて景気は持ち直しつつあるものの、失業率の高止まりや銀行貸出の低迷などにより、その改善ペースは非常にゆっくりしたものとなりました。

このような環境の中で当社グループは、米国におきましては、販売促進の強化や需要が増加したことにより、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの当第3四半期連結累計期間の販売台数は、前年同期と比較して増加しました。一方欧州におきましては、ミニショベルの販売台数は微増、油圧ショベルについては微減となり当第3四半期連結累計期間の販売台数はわずかながら増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の販売台数は米国を中心に増加し、売上高は417億2千8百万円(前年同期比26.8%増加)になりました。

利益面につきましては、売上の増加、コストダウン及び円安により外貨建売上の円換算額が増加し利益率が改善したことにより、営業利益は31億1千2百万円(前年同期比90.5%増加)となりました。経常利益は、為替差益が15億4千6百万円(前年同期は、1億2千3百万円の為替差益)発生したことなどにより47億5千8百万円(前年同期比153.9%増加)、四半期純利益は税金費用を12億2千4百万円計上したことなどにより、35億3千5百万円(前年同期比124.7%増加)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

日本では、販売台数が増加したことにより、売上高は150億5千万円(前年同期比1.8%増加)、セグメント利益は子会社向け売上高の増加及び、円安により子会社向け売上の利益率が改善したことなどにより、36億7千万円(前年同期比130.0%増加)となりました。

② 米国

米国では、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの販売台数が増加したことにより、売上高は178億8千2百万円(前年同期比61.9%増加)、セグメント利益は第2四半期から販売促進を図るために値引を行ったことにより、3億2千6百万円(前年同期比50.8%減少)となりました。

③ 英国

英国では、販売台数が増加したことと円安により英ポンド売上の円換算額が増加したことにより、売上高は46億1千4百万円(前年同期比28.5%増加)、セグメント利益は1億9千2百万円(前年同期比10.3%増加)となりました。

④ フランス

フランスでは、販売台数が微増になったことと円安によりユーロ売上の円換算額が増加したことにより、売上高は20億5千万円(前年同期比28.1%増加)、セグメント利益は3百万円(前年同期比21.9%減少)となりました。

⑤ 中国

中国では、販売台数が微減となりましたが、東南アジア向けショベルの輸出が増加したことと円安により元売上の円換算額が増加したことにより、売上高は21億3千1百万円(前年同期比11.8%増加)、セグメント利益は7千8百万円(前年同期は、1億7千4百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ23億3千3百万円減少し、487億1千7百万円となりました。これは主に、現金及び預金が39億1千6百万円増加しましたが、商社を通じて行なっていた連結子会社3社との取引を直接行なうようになったことから受取手形及び売掛金が41億4千万円減少及びたな卸資産が29億5千6百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ67億7千3百万円減少し、137億2千3百万円となりました。これは主に、未払法人税等が11億2千9百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金の減少と同じ理由により支払手形及び買掛金が78億5千3百万円減少及び短期借入金金が5億2千4百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ44億3千9百万円増加し、349億9千4百万円となりました。これは主に、四半期純利益により利益剰余金が34億5百万円増加及び為替換算調整勘定が10億2千2百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年10月7日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日(平成26年1月10日)公表いたしました「平成26年2月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本業績予想における第4四半期の外国為替レートは、1米ドル=98円、1英ポンド=160円、1ユーロ=135円、1人民元=16.0円を前提としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、第1四半期連結会計期間から、法人税法の改正に伴い、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,800,531	7,716,561
受取手形及び売掛金	24,061,769	19,921,236
商品及び製品	11,297,157	8,460,410
仕掛品	1,220,259	1,313,113
原材料及び貯蔵品	2,158,300	1,945,862
繰延税金資産	507,612	1,293,910
その他	679,150	1,062,269
貸倒引当金	△697,771	△925,493
流動資産合計	43,027,009	40,787,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,276,294	3,339,060
機械装置及び運搬具(純額)	864,047	798,999
土地	2,206,964	2,290,834
その他(純額)	391,197	313,309
有形固定資産合計	6,738,504	6,742,203
無形固定資産		
投資その他の資産		
その他	1,044,646	672,235
貸倒引当金	△138,548	△155,379
投資その他の資産合計	906,097	516,856
固定資産合計	8,024,373	7,929,830
資産合計	51,051,382	48,717,703

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,031,397	8,177,689
短期借入金	1,609,480	1,085,000
未払法人税等	56,065	1,185,459
賞与引当金	133,500	21,693
製品保証引当金	454,316	700,221
その他	1,552,078	1,931,518
流動負債合計	19,836,837	13,101,582
固定負債		
退職給付引当金	122,361	130,388
役員退職慰労引当金	233,912	241,921
債務保証損失引当金	152,389	55,909
その他	150,913	193,465
固定負債合計	659,577	621,686
負債合計	20,496,414	13,723,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,632,948	3,632,948
資本剰余金	3,631,665	3,631,665
利益剰余金	25,533,369	28,938,370
自己株式	△3,250	△3,250
株主資本合計	32,794,732	36,199,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,272	16,901
為替換算調整勘定	△2,245,037	△1,222,199
その他の包括利益累計額合計	△2,239,764	△1,205,298
純資産合計	30,554,968	34,994,434
負債純資産合計	51,051,382	48,717,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	32,921,452	41,728,473
売上原価	27,548,083	34,560,807
売上総利益	5,373,368	7,167,665
販売費及び一般管理費		
運搬費	1,013,923	1,059,300
製品保証引当金繰入額	186,508	376,621
貸倒引当金繰入額	196,444	26,511
債務保証損失引当金繰入額	54,396	—
役員報酬	122,680	136,239
給料及び手当	817,259	991,468
賞与引当金繰入額	3,567	5,194
退職給付費用	41,208	25,407
役員退職慰労引当金繰入額	8,596	8,008
その他	1,294,678	1,426,390
販売費及び一般管理費合計	3,739,263	4,055,142
営業利益	1,634,104	3,112,522
営業外収益		
受取利息	14,727	13,627
受取配当金	1,430	1,435
補助金収入	28,571	—
違約金収入	64,314	—
為替差益	123,739	1,546,432
その他	58,022	105,308
営業外収益合計	290,805	1,666,804
営業外費用		
支払利息	12,604	9,496
貸与資産減価償却費	14,698	8,811
その他	23,042	2,162
営業外費用合計	50,345	20,470
経常利益	1,874,564	4,758,857
特別利益		
固定資産売却益	5,247	12,730
投資有価証券売却益	3,017	—
特別利益合計	8,264	12,730
特別損失		
固定資産売却損	171	—
投資有価証券売却損	750	—
投資有価証券評価損	7,937	—
減損損失	—	11,187
特別損失合計	8,858	11,187
税金等調整前四半期純利益	1,873,971	4,760,399
法人税、住民税及び事業税	357,943	1,491,457
法人税等調整額	△57,434	△266,712
法人税等合計	300,508	1,224,744
少数株主損益調整前四半期純利益	1,573,462	3,535,655
四半期純利益	1,573,462	3,535,655

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,573,462	3,535,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△666	11,628
為替換算調整勘定	10,218	1,022,837
その他の包括利益合計	9,551	1,034,465
四半期包括利益	1,583,014	4,570,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,583,014	4,570,121
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	14,780,912	11,043,628	3,590,692	1,600,521	1,905,697	32,921,452	—	32,921,452
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,715,836	38	2,958	5,043	166,731	15,890,609	△15,890,609	—
計	30,496,749	11,043,667	3,593,650	1,605,564	2,072,429	48,812,061	△15,890,609	32,921,452
セグメント利益又は損失(△)	1,595,441	662,806	174,951	4,001	△174,813	2,262,387	△628,283	1,634,104

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△628,283千円には、セグメント間取引消去△149,494千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△478,788千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	15,050,528	17,882,644	4,614,121	2,050,088	2,131,089	41,728,473	—	41,728,473
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,500,634	34	7,886	19,273	353,261	18,881,089	△18,881,089	—
計	33,551,163	17,882,678	4,622,007	2,069,361	2,484,351	60,609,562	△18,881,089	41,728,473
セグメント利益	3,670,088	326,118	192,944	3,126	78,836	4,271,113	△1,158,591	3,112,522

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,158,591千円には、セグメント間取引消去△585,815千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△572,775千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。